

# 丸徳グループ

## 車両分科会

だ

よ

り

Vol.22

丸徳グループ各社従業員の皆様  
毎日の業務、ご苦労様です。

今月の記載内容は・・・

- ・ 雪道を上手に運転する **7つのコツ**
- ・ 意外に知らない **4つ**の交通違反
- ・ 交通ヒヤリハット  
(冬の早朝、深夜の運転)
- ・ 愛知県警からのリーフレット12月

# これさえ守れば冬は全然怖くない

雪が降ると運転が怖いと感じてませんか。  
雪道を上手に運転するコツをおさえて、  
事故防止に努めましょう。



## 雪道を上手に運転する7つのコツ

- 急発進、急ブレーキ、急ハンドルをしない
- 視界を確保する
- 車間距離を多めにとる
- わだちを走る
- カーブ手前で必ず減速する
- 常に燃料を多めに入れておく
- スタッドレスタイヤやチェーンを装着する



アイスバーン（路面凍結）が発生しやすい  
橋の上・トンネルの出入口・交差点付近では  
特に注意が必要です。

スタッドレスタイヤを装着しているからと過信  
せず、**安全を心掛けて運転しましょう。**

# 意外と知らない交通違反



知らなかったわ...

それでも捕まる**道路交通法**

## ハイビームのまま運転

### 「車両等の灯火」



【反則金】 普通車6,000円

中・大型車7,000円

【点 数】 1点

他の車両の後ろを走行する場合や、すれ違う際にハイビームのまま走るのは違反とされています。

## 雪道をノーマルタイヤで走行

### 「運転者の遵守事項」



【反則金】 普通車6,000円

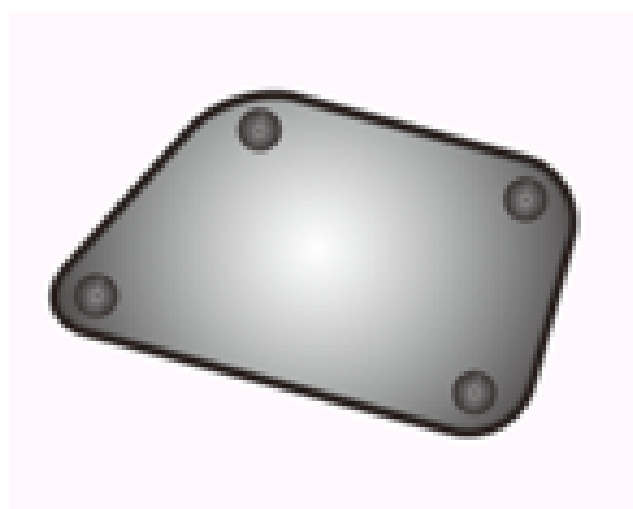
大型車7,000円

【点 数】 なし

各都道府県公安委員会では積雪・凍結した道路でのスタッドレスタイヤの着用を義務付けています。



# 運転席・助手席窓にサンシェードをして走行



## 「乗車又は積載の方法」

【反則金】 普通車6,000円

中・大型車7,000円

【点 数】 1点

助手席・運転席窓にカーテンやサンシェードをつけての視界が妨げられる状態での走行は禁止されています。

# 自転車の傘さし運転



## 「運転者の遵守事項」

自転車に関する違反は「反則・減点」ではなく「罰金」となります。

【罰 金】 5万円以下

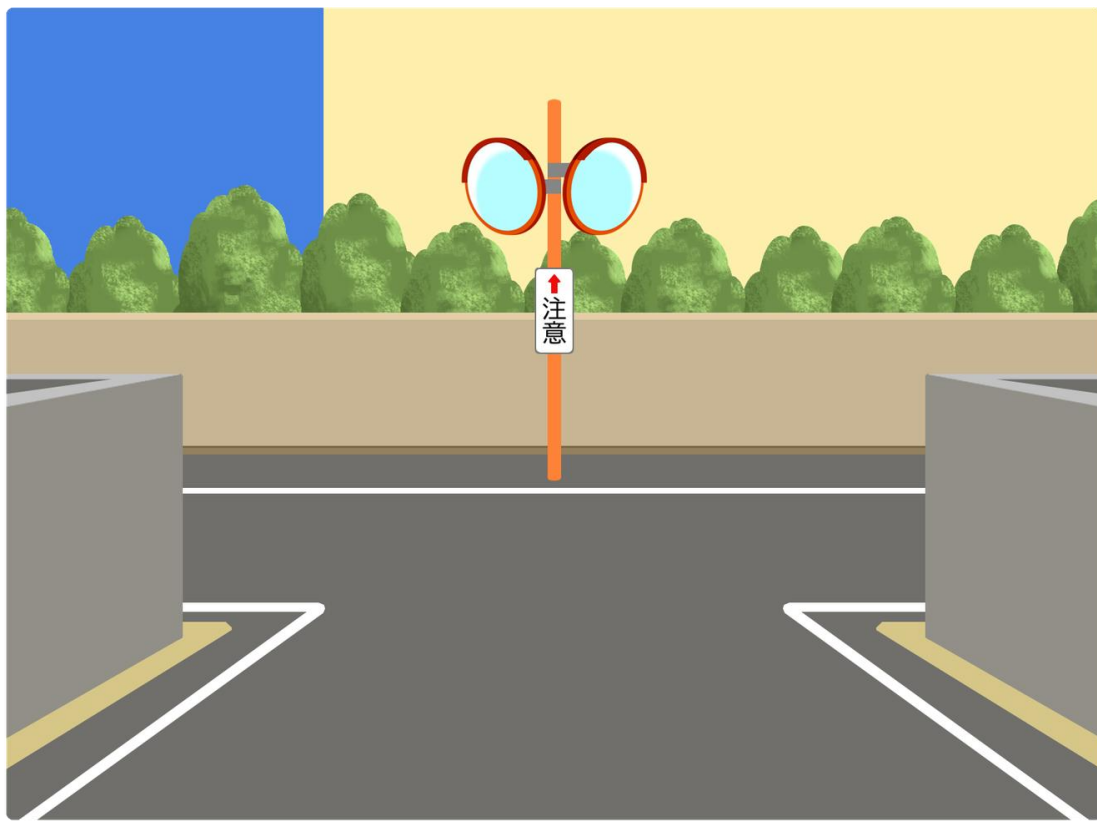
安全なハンドル、ブレーキ操作ができない傘さし運転も違反となり、自転車の運転者にも適応されます。

以上の4点以外にも、意外と知らない交通違反はいっぱいあります。普段なんとなくしている運転を見直して、**交通違反や交通事故に注意しましょう。**



# 交通 ヒヤリハット

ヒヤリ：冬の早朝、深夜の運転



## 状況

早朝に仕事に行く為、  
自動車を運転していた。  
T字路で右折しようとして  
ブレーキを掛けた。

ヒヤリ

減速せずカーブの途中で  
ブレーキを掛けた為、  
車が横滑りし1回転した。

寒い時期に車を走行する時は、「**急ハンドル・急ブレーキ**」避けて  
運転しましょう。また、カーブをする時や交差点で曲がる時は手前で  
十分に**減速して走行**しましょう。  
時間に余裕を持って運転しましょう。





夕方の5～7(ゴータナ)は“魔の時間”  
～歩行者は反射材等を着用  
ドライバーは早めのライトオン～

# 交通事故防止の POINT

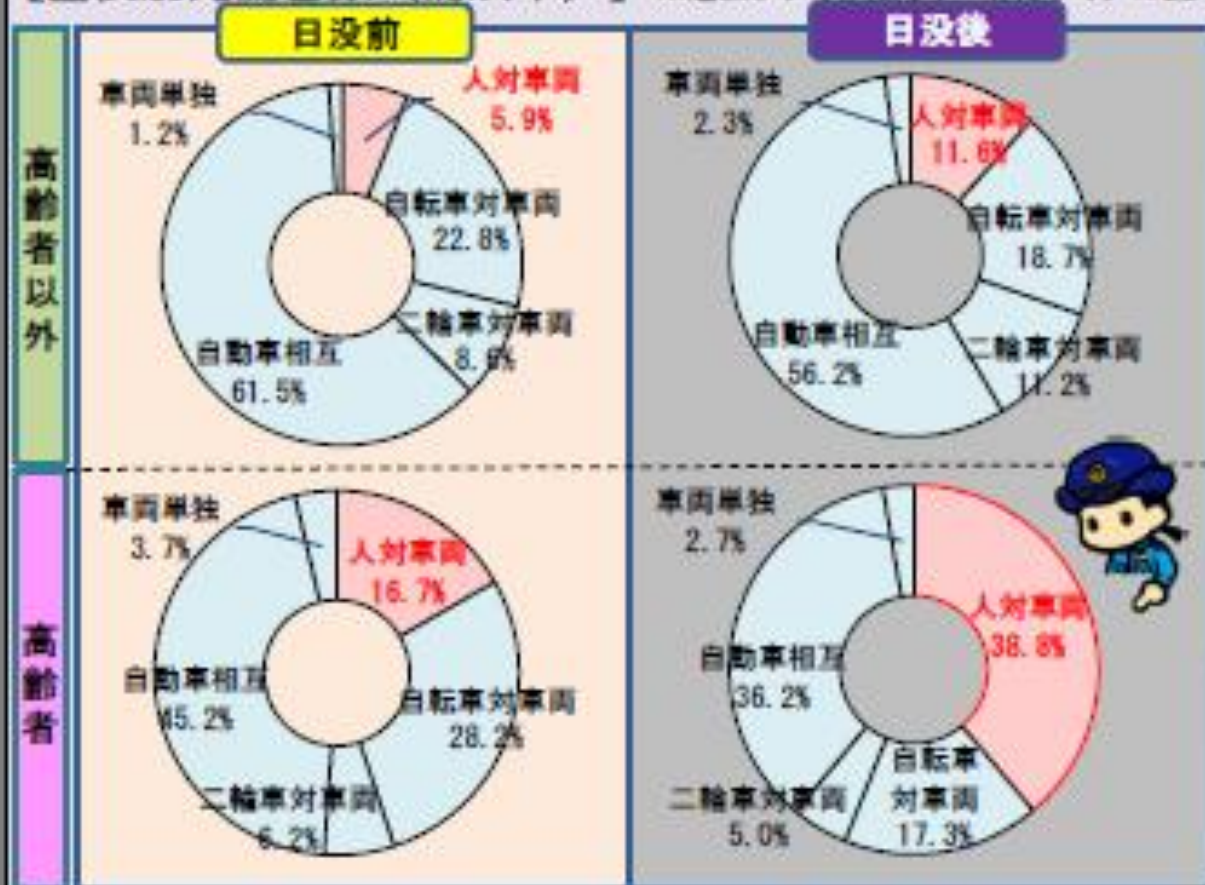
12月号



## 日没後は高齢歩行者事故が多発!

～加齢による視機能の変化を知りましょう～

【昼夜別死傷者数(構成率)】 ※過去5年(令和元年～令和5年)に愛知県内で発生した事故(列車事故を除く)をもとに作成



日没前: 日の出から日の入り前までという  
日没後: 日の入りから日の出前までという

左の表をご覧ください。  
交通事故による「人(歩行者)対車両」事故の死傷者構成率は、「日没前」よりも「日没後」、「高齢者以外」よりも「高齢者」が多いことがわかります。  
特に「日没後」の「高齢者」の死傷者構成率は、顕著に高くなっています。

先月号は、眼の特性から、暗い時間の事故防止についてお伝えしましたので、今回は、加齢に伴う視機能の変化を紹介します。

11月号に引き続き、

日本交通医学工学研究会所属 名古屋大学医学部眼科 病院助教 井岡大河先生に伺いました!

## POINT 加齢に伴う視機能の変化(低下)を理解し、安全確認をより慎重に!



井岡先生

年齢を重ねると以下のような視機能の変化があります。  
理解したうえで慎重な運転や歩行時の安全確認をお願いします。



①老人性縮瞳(ろうじんせいしゆくどう)  
暗いところで瞳孔が開きにくくなり光を取り込みづらくなるため、若年層よりも物が見えにくくなります。

②視細胞の減少  
暗い中で動く物や光への反応が低くなります。

③ドライアイ  
涙の量が減り、光の散乱やまぶしさを強く感じるようになります。

④角膜のにごり  
透明性が失われ、視力が低下したり、まぶしさを感じるようになります。

⑤眼瞼下垂(がんけんかすい)  
まぶたが下がってきて、上方が見にくくなります。

⑥緑内障・白内障のリスク増  
視野が欠ける、狭くなる、ぼやけてみえる、暗い場所で見えにくくなる、物がダブって見えるなどの症状が現れます。



名古屋大学医学部眼科  
結城賢弥准教授

加齢による視機能の変化は、ゆっくり進行することが多いため**自分で気が付きにくいものです**。視力が良いからと安心せず、積極的に眼科を受診し、検査により現在の自分を知ったうえで、安全な行動をとることがとても重要です。

これらの変化は、歩行者、ドライバーともに交通事故の発生に影響する可能性があります。  
すべての年代の方が、「自分の存在は相手に気づいてもらっているのか」、「自分が認識していない人や車がいなか」を考えて行動することが大事です。



◆12月の日没時刻は、午後4時40分(1日)から午後4時50分(31日)です。